

切り拓く道は希望ある未来につながる——

自身の道を信じ、挑戦し続ける経営者

Company Data

株式会社 ユウテック

大阪府大阪市中央区谷町 5-6-9 ダイアパレス 2 階

URL : <https://yu-tecc.com>

イベント事業・販売支援業務・コンサルティング業務の3つを柱に、お客様のパートナーとして歩んでいる『ユウテック』。挑戦する姿勢を持ち、前進を続ける室谷社長が牽引する会社だ。本日はタレントのダンカン氏が訪問し、脇坂取締役も交えてお話を伺った。



代表取締役 **室谷 悠太**

——早速ですが、室谷社長の歩みから伺います。

(室) 中学生までは野球に打ち込み、高校生からはK-1を見て正道空手を始めました。強い男になりたい、という一心でしたね。公務員だった父からは、将来は公務員になるよう勧められましたが、「一度しかない人生、安定よりも挑戦をしたい」と、自分の道を歩むことにしました。それもあって、高校生のころから漠然とですが、社長になりたいと思うようになりました。

——社長は真っ直ぐなお方だ。社会人の一本はどのようなお仕事をする？

(室) 社長になるためにはどうすれば良いかを考えて、技術を身に付けて独立すれば良い、と思い至り、電気工事業界に入りました。そして、数年間腕を磨き、22歳で個人事業主として独立したのです。しかし、父からは時に厳しい言葉をかけられることもあり、「必ず結果を出して見せる」という思いを常に抱いていました。

——熱い思いをお持ちだったのですね。

実際独立されてみて、いかがでしたか。

(室) ありがたいことに順調でした。しかし、若さ故の勢いで独立まで至ったものの、現実を知るにつれて徐々にこのままで良いのかと考えるようになっていったのです。そんな折、縁あって保険の営業の仕事に誘われまして。もともと、周囲からは「話すのが上手い」と言われていたこともあり、新たに挑戦してみようと転身。そこで、脇坂と出会ったのです。営業は自分に合っていたようで、結果を出し、昇進もしました。しかし、独立への思いは消えておらず、脇坂に声をかけて再び独立に踏み切ったのです。現在は、イベント事業や販売支援業務、コンサルティング業務を手掛けています。

——脇坂取締役は、社長に何と声をかけられて？

(脇) 「俺についてこい、稼がせてやる」と。私は、「その言葉、信じますよ」と、事業を共にする決意をしました。社長は、真っ直ぐ突き進むパワーを持った人です。「これをやってくれ」と頼まれたら、まずはその内容を受け止めて、精査し、

どうしたら結果が出るかを考えて、過程を組み立てるのが私の仕事だと思っています。

(室) 脇坂は、観察力に長けており、頼んだ仕事を期待以上の形にしてくれます。私が0から1にしたことを、彼はさらに2や3へと進化させていってくれるので、頼もしい存在です。

——お二方が信頼し合っていることが伝わります。まさにベストパートナーですね。最後になりますが、今後についてお聞かせ下さい。

(脇) 最強の二番手でありたいです。私の役目は、陰から事業を支えること。社長が切り拓く道を、さらに強固にし、また広げていくサポートをしていきたいですね。

(室) 経営者として、従業員はもちろん、その家族が安心できる生活を守ること、私の役目だと思っています。そのために必要なことは、給与などの待遇面もそうですが、一社会人としての礼儀・作法やマナーも大切だと思います。各々の目的のために当社を去ることとなったとしても、それらはきっと役に立ちます。そのためにも、単にスキルを身に付けるだけではなく、人として成長できるような会社でありたいですね。

会社としては、まずは多くの方々に認知していただきたいです。その中で、様々な業種に挑戦し、利益を上げて経済を回して納税をすることで、社会貢献をしていきたい。それが、会社の存在意義だと思います。

(2020年11月取材)



interviewer
ダンカン

「まずは挑戦し、継続する。失敗したらその時に考えれば良い」という室谷社長のお言葉が印象的でした。前をみてひた走るそのお姿はパワーに溢れており、私も勇気づけられましたよ」



対談に参加して下さった
脇坂取締役を交えての記念写真